

会社の人間関係が良くなる ペップな社長の ペップトーク通信

2022年3月号 vol.3

【人を励まし応援するためにまずは〇〇であること】

【効果的な励ましと残念な励ましの違い】

言われれば言われるほどやる気をなくしてしまう。
あなたにはそんな経験はないでしょうか？

「なんで言われた通りにやらないんだ！」
「あんな態度でやっていてできるわけないだろう！」
「やる気がないなら帰れ！お前なんかやめてしまえ。」

スポーツの現場、職場、学校や家庭でもこのような言葉を聞くことがあります。
また私は過去に自分が言っていました。
私たちはこういう言葉がけを「プッペトーク」と呼んでいます。
ペップとは反対の言葉がけなのでプッペと名付けました。

日本ペップトーク普及協会では「ペップトーク」は
・ポジティブな言葉で・相手の状況を受け止め・ゴールに向かった・短くてわかりやすく・人をその気にさせる・言葉がけと定義しています。
それに対して「プッペトーク」は
・ネガティブな言葉で・相手のためと言いながら・ゴールは無視して・延々と・人のやる気をなくす・説教・命令です。
そしてペップトークのことは「勇気づけトーク」と呼んでいるのですがプッペトークはなんと名付けたと思われますか？
・不愉快トーク・気合抜けトーク・ブラックトーク・もやもやトーク
これらは過去セミナーに参加してくださった方の意見です。
いろんなとらえ方があって良いのですが協会では「残念トーク」と呼んでいます。

なぜ残念なのか？

それはプッペトークをしてしまっている人も多くの場合心の中では相手を応援していて、「あなたにもっと良くなってほしい。」「お前ならもっとできるはず。」「相手の力をもっと引き出したい！」心の底にはこんな思いがあるから。
だから残念トーク、もったいないトークなのです。

このように相手を応援したいという気持ちがあるのに言葉のかけかたを知らないばかりに相手のやる気をなくしてしまう……。もったいないと思いませんか？
せっかく応援するならペップトークを心掛けたいですね。